

祝 真打ち昇進！古今亭駒子さん

かんらふるさと大使で落語家の古今亭駒子さん(本名 高木厚子さん・東京都北区在住・小川出身)は9月に落語会の最高位「真打ち」に昇進しました。

駒子さんは15年前に落語の世界に入り、「古今亭ちよりん」として活躍。平成19年に二ツ目に昇進し、東京都内での寄席を中心に活動しているほか、台南や北京などアジア各地での高座も積極的に務めてきました。



真打ち昇進披露興行前の町敬老会(9月11・12日)で古今亭ちよりんとして落語を披露し、

会場を笑いに包んだ駒子さんは「近年落語が盛り上がっていて、寄席で町おこしをしている地域もあります。少人数でも子どもからお年寄りまで楽しめる寄席を甘楽町でぜひ行いたいので、機会があればお声掛けください」と話されました。

駒子さんの真打ち昇進披露興行出演スケジュール(10月以降)は次のとおりです。来年3月に町文化会館で行われる「かんら寄席」にも出演されます。

- ・新宿末廣亭 (10月3日(水)・7日(日) 午後5時～)
- ・浅草演芸ホール (10月14日(日)・20日(土) 午前11時40分～)
- ・池袋演芸場 (10月24日(水)・30日(火) 午後1時～)
- ・国立演芸場 (11月2日(金)・3日(土・祝) 午後1時～、同9日(金) 午後6時～)



町敬老会で真打ち昇進の祝福を受けたちよりん改め古今亭駒子さん(右)

究 極の蕎麦を作る 入門講座

蕎麦づくり入門講座第1回目の種まきが8月19日、秋畑那須地区の「ちいじがき蕎麦の里」で行われました。

43口150人の参加者は蕎麦づくり名人から指導を受け、区画された約100㎡の畑をクワで耕し畝を作り、丁寧に蕎麦の種をまきました。標高700mの段々畑で作業した参加者は、秋の気配を感じる風を受けながらさわやかな汗を流しました。

土寄せ作業風景



名人から指導を受けて畑に種をまく入門者

9月2日の土寄せ作業は雨と霧に包まれましたが、手際良く順調に作業が進められました。12月の蕎麦打ちまで究極の蕎麦づくりが行われます。

道 路ふれあい標語で優秀賞 小幡さん



小幡由美子さん(庭谷)は、国土交通省が募集した平成30年度「道路ふれあい月間」推進標語の一般の部で優秀賞を受賞しました。同省は毎年8月を「道路ふれあい月間」として、道路の愛護活動や道路の正しい利用の啓発などを推進しています。標語の募集には、全国から8,766作品の応募があり、入選作品として9作品(最優秀賞3作品・優秀賞6作品)が選ばれました。

小幡さんは「私たちの生活に必要な道路の大切さと晴れの日の舞台にもなる道路を伝えたくて、今回の標語を作りました」と話されました。

受賞した小幡さんの標語を紹介します。

「パレードも 祭り神輿も この道路」

共 に生きる未来を目指して

9月の知的障害者福祉月間にちなみ、知的障害者への理解や協力、福祉施設などの環境整備を呼びかける福祉パレードが9月11日に来庁しました。

甘楽町手をつなぐ育成会の松井真由美さん(小幡)が「全ての人が一緒に社会を支え合う人間として、人間性が尊重され、共に生き、安心して生活できる社会の実現に向けてさらに努力したい」と朗読し、メッセージを茂原町長らに手渡しました。また、地域活動支援センターあゆみの皆さんから花束が渡され、茂原町長は「地域に住む人たちが共に生き、幸せに暮らせる環境を作っていきたい」と応えました。



メッセージを朗読する松井さん(左)

地 域を学ぶ かぶら文化講座

4市町村(富岡市・下仁田町・南牧村・甘楽町)教育委員会主催の「かぶら文化講座」(全5回)の第1回講座『日本遺産「かかあ天下」—ぐんまの絹物語—』が9月12日、町公民館で開かれました。

受講者約80人は、講師の富岡製糸場世界遺産伝道師協会伝道師の除村和子さん(藤岡市在住・上野出身)から、日本遺産に認定された県内4市町村(桐生市・中之条町・片品村・甘楽町)の養蚕にまつわる文化財や蚕の生態などを学びました。座繰り体験も実施され、受講者は日本遺産についての理解を深めました。



座繰りの方法を説明する講師の除村さん

地 域を盛り上げる金井夏祭り

金井を愛する会(飯塚あさ子会長)主催の金井夏祭りが8月25日、金井研修センターで開かれました。

平成2年から行われている恒例の夏祭りに住民約250人が集まりました。子どもたちはお菓子のつかみどりやヨーヨーつりなどの模擬店で夏祭りを十分楽しみました。

同会では、今後多世代交流の場としても地域を盛り上げる夏祭りにしていきたいと考えています。



第60回町民体育大会 総合優勝は福島支部

甘楽町体育大会が8月26日に開かれ、支部対抗で熱戦を繰り広げました。9月2日に予定されていた陸上・綱引き競技は、雨天のため中止となりました。

総合優勝は、32年連続で福島支部でした。成績は右表のとおりです。

支部対抗種目別成績表

()内は得点数

種目	種目別順位			
	優勝	準優勝	第3位	第4位
バレーボール女子	福島(3)	小幡(2)	新屋(1)	
バレーボール男子	福島(2)	小幡(1)		
ソフトボール	福島(4)	小幡(3)	秋畑(2)	新屋(1)
卓球	新屋(3)	福島(2)	小幡(1)	
ソフトテニス	福島(3)	新屋(2)	小幡(1)	
剣道	福島(3)	小幡(2)	秋畑(1)	
陸上男子	※雨天のため中止			
陸上女子	※雨天のため中止			
綱引き	※雨天のため中止			
総合	福島(17)	小幡(10)	新屋(7)	秋畑(3)



↑ソフトボール優勝の福島支部の皆さん



◎第9回親善グラウンドゴルフ大会(9月9日開催)

- 優勝 第二慶寿会A(上写真)
- 準優勝 19区グラウンドゴルフ愛好会A
- 第3位 第25区A

※同スコアの場合はホールインワンの数の多いチーム、年齢の高いチームが上位となります



ソフトテニス



バレーボール

生涯スポーツの振興に尽力

群馬県の生涯スポーツ功労者と生涯スポーツ優良団体の表彰式が9月7日、県庁正庁の間で開かれました。

これは地域や職場において、地道な活動を継続し、生涯スポーツの健全な普及や発展に貢献した個人、団体を県が表彰するものです。

町からは次の1個人、1団体が栄えある県知事賞を受賞されました。



生涯スポーツ功労者

加藤 博さん(秋畑)
長年にわたり体育協会役員として地域の体育振興に尽力されました。

現在も積極的にスポーツ行事に協力し、活躍されています。



生涯スポーツ優良団体

甘楽ラージボール卓球会(青木重次代表)
初心者でも取り組みやすいラージボール卓球の普及に努め、幅広い世代の地域住民が楽しんでいます。

また、卓球大会を積極的に開催し、運営にも尽力されているため、生涯スポーツ振興への貢献が認められました。